

幼稚園の書架を飾る二つの新刊

倉 橋 生

○「子供の繪の觀方と育て方」

檜崎淺太郎氏と上阪雅之助氏との共著である。檜崎博士は心理學の權威者、上阪氏は錚々たる圖畫教育革新論者、その兩君が、いづれも自家の愛兒の幼時からの圖畫を研究して、その事實の材料から立論せられたものである。その結論に全部同意すると否とを問はず、斯くの如きものをこそ、幼兒教育者の必讀書といふべきであらう。殊に、此書の讀者が、子どもの繪の觀方に就て學ぶべきところは實に多い。從來、子どもの圖畫を主題とせる著書中、此の書の如く、子どもの繪をその一

つ／＼に於て忠實に觀てゐるものは尠い。従つて、讀者に、その態度を教ゆること、此書の如く力強いものは稀である。論よりも大事なものは先づ觀ることである。日々子どもの繪の中に埋まつてゐると言つてもいい、幼稚園の人々に、もう一度立ち止まつて、その繪の一枚々々を丹念に凝視せしむる上に於て、此の書の促すところのものは、蓋し非常に大きいものである。此の紹介によつて此書を必ず讀まるゝ多くの幼稚園の人々に代つて、豫め著者兩君に深き謝意を表しなければならぬ。(東京神田駿河台藤井書店發行定價金參圓五拾錢)

○「自然物應用による恩物」

書名が直ぐ聯想させるであらう通りに、膳眞規
子氏の著である。膳氏の此の方面に於ける長い研
究、製作、又、それが幼稚園の實際に及ぼした貢
獻の大きいことは、今更いふまでもないことであ
る。しかも、此の折角くの工夫を永久に紀念し、
廣く世に傳えんことは氏の友人、教へ子の總ての
願ひであつた。その中にあつても、神戸幼稚園の
望月くに氏は、最も熱心に此のことを計畫して居
られ、それが愈々實現されて、此の美しい一卷の
書となつたのである。二十枚の精巧なる寫眞版は
膳氏自ら作られた「自然藝術」の數々を、そのま
ゝに美しく目の前に示してゐる。此の書の出版は
實に著者を中心とする友人全體の大きいなる喜びで
あり、幼稚園界の爲に亦大いなる賜である。著者
に謝し、望月氏に謝し、編輯上多くの力を盡され

た尾崎氏に謝し、而して、此の材料となつた美し
き自然物にも謝し、幼稚園必備の有益なる參考書
として之れを廣く奨めずにはゐられない。(大阪市北
區天神筋一丁目大阪保育品製作所發行 定價金貳
圓)

